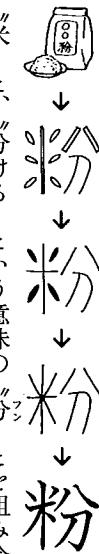


# 粉

四年 画数 10

オシ  
フン  
コ・コナ

成り立ち



「米」と、「分ける」という意味の「分」とを組み合わせて作った字です。

「米をうすでついてつぶし、こまかく分けたもの」という意味の字で、「米の「こな」」のことを表した字です。しかし、今では、米のこなにかぎらず、「こな」のようないょうたいのものは、すべて「粉」といいます。【例】粉乳、花粉。

「こまかくくだく」という意味に使われます。【例】粉碎、粉骨碎身。

また、「おしゃれい」の意味にも使われます。【例】脂粉（「おしゃれい」のことを「白粉」と書いたため）。

▽わたしは花粉症です。スギの花粉が飛ぶ季節になると、クシャミがとまらなくなります。また、スギの花粉だけではなく、ゴミの粉塵などでもクシャミが出ます。何にか良い薬はないかなと思います。

▽むかしの物語を読むと、主人のために粉骨碎身して、活躍した人がたくさん出て来ます。ぼくは誰か人のために身を粉にして働いたということがないので、そういう人たちは、えらいなあと思います。

熱話例

▽粉乳（粉ミルク。牛乳の水分を蒸発させて粉にしたもの）

▽花粉（花の雄しべにできる粉。雌しべにつくと実ができる）

▽粉碎（こまかくくだくこと。また、敵を粉みじんにやつづけること。「敵軍を粉碎しようと総攻撃をかけた」などというふうに、つかいます。）

▽粉骨碎身（骨を粉にし、身を碎くような、大変な努力をすること。）

# 兵

四年 画数 7

画数  
筆順  
オシ  
クン  
ヘイ・ヒヨウ

成り立ち



「斧」の形を表し、「斧」の本字である「斤」と、手の形を表した「バ」とを組み合わせて作った字です。

むかしは、斧はどの家でもなくてはならない大切な道具でした。毎日使う木を切るためですが、これが身をまるための「武器」としても使うことができたからでした。この字は、「武器としての斧を手に持つ人たち」を表したもので、「下級の軍人」のことを表した字です。【例】兵士、兵隊、衛兵。

「武器」の意味にも使います。【例】兵器、兵馬。

また、「戦争」の意味にも使われます。【例】兵火、兵法。

使い方

▽日本の国は平和ですが、世界の中には戦争を行っている国があります。自分の国が戦火で焼け兵士として戦っている人々の気持ちはどうなのでしょう。一日も早く衛兵はとてもすてきで、ぼくも近衛兵になつてみたいくらいでした。

熱話例

▽兵士（下級の軍人。戦争をする人）

▽兵隊（兵士と同じ意味です。）

▽衛兵（何かを守るために兵士。取締りや巡回を行う兵隊のことです。）

▽近衛兵（国王や天皇を守る兵士）

▽兵器（武器のこと。「秘密兵器」などというふうに、つかいます。）

▽兵火（戦火。戦争によつておこる火事）

▽兵法（戦争の方法。「ヒヨウホウ」とも読みます。）